

社会・国際奉仕委員会方針

社会・国際奉仕委員会 委員長
早川 敬介
(郡山北 RC)

「2022-23 年度地区活動目標」

社会奉仕委員会

- ・クラブの奉仕活動の情報を収集する。
- ・インパクトのある奉仕活動立案のための研修及び支援
- ・クラブの奉仕活動をサポート

国際奉仕委員会

- ・R13350 地区（タイ・ミャンマー・カンボジア、ラオス、ベトナム）との友好締結
- ・国際奉仕支援地域の情報収集
- ・オンツーマルボルのサポート

地区社会・国際奉仕委員会の役割

- ①地区社会・国際奉仕委員会は、地区補助金プロジェクト・グローバル補助金プロジェクトの質、インパクト、持続性を高めるために活動します。
- ②重点分野の活動のためにロータリークラブとローターアクトクラブをつなげる方法、補助金 管理の方法、地区委員会の役割をクラブに紹介します。
- ③委員会の役割と、国際奉仕へのクラブの参加を促し、クラブが持続可能で充実したプロジェクトを計画できるよう、豊富な人材を備えた地区リソースネットワークを紹介します。
- ④世界理解、親善、平和を促進する財団の使命について学び、ロータリー財団がもたらすインパクトについてお知らせします。

クラブ奉仕プロジェクト委員会の基本

- ①地区ロータリー財団委員会の協力をいただき、地区補助金プロジェクトの報告書から地区内他クラブの奉仕プロジェクト情報を知ること、継続事業の意義も考慮し、多くの奉仕情報を学び、プロジェクトの計画やリスク管理に役立てていただきます。

ex.新型コロナウイルスのオミクロン株流行下の奉仕活動について～

- ・クラブの奉仕活動活件化のために、TRF 7月ロータリー財団セミナーで発表される「地区補助金報告書を各クラブの参加者にクラブの例会で報告していただき、他クラブの活動にも関心をいただき、次年度への取組みへ参考にしていただけるよう取組んでいただきます。

②2021-22 年度職業奉仕委員会／社会・国際奉仕委員会共催事業（中学生のインターンシップ事業（中央分区内でのアンケート集計と公開）について、中学生が新型コロナウイルス対策のため実体験できない状況を生徒達がホームページ上でヴァーチャル体験活動などができるよう支援するとともに各分区で教育機関と取組む支援をすることで人材の流出防止と東日本大震災からの復興に貢献して行きます。

Ex1. RID3350（タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム）との友好締結

この地区の飯田光孝 GE が、地区内の「日本の存在感」を高めたいとの思いを支援します。

豪 COVID-19 対応の緊急帰国の際、本地区の米山奨学生がお世話になった縁

EX2. 地区 TRF へのグローバル補助金申請の情報をいただき、マッチングであっても相手先がこの地区の時は、問い合わせ、確認し、実現化の方向で取組みます。

また、グローバル補助金に使われる DDF は、地区内会員の年次基金が原資であることから、クラブからの年次基金 \$ 150/一人の達成クラブを優先する方向でお願いします。

国際大会に向けて～オンツーメルポルン

・従来ガパナーエレクトお一人で国際大会への対応をされてこられましたが、余りにも多忙であることを鑑み、国際奉仕委員会として指導を仰ぎながら対応します。

セミナーの開催

・各クラブの社会奉仕活動・国際奉仕活動を支援するためセミナーを開催。